

6月議会一般質問報告 6/9 彦坂和子

1 新型コロナ対策をさらに進めて



(1) 水道料金の基本料金の減免を

【質問】 標準的な一般家庭の水道基本料金、1か月使用した場合の水道料金か？

【答弁】 一般家庭で一番多い水道メーター口径 13 mmの基本料金は、税込み 666 円基本料金と合わせて税込み 1,920 円です。

【質問】 市民生活や企業の負担の軽減、手洗いの実施で感染予防の促進、熱中症対策促進のため、水道料金の基本料金の減免を実施してほしい。

また、減免実施に必要な予算は？

【答弁】 減免措置を行う考えはありません。市の水道料金はもともと安く、市民生活や企業の負担軽減に貢献していること。基本料金の減免による支援効果は低いこと。安定した水道事業の継続が難しくなることです。

減免にかかる予算は、4か月間の水道基本料金を 100%減免した場合、約 4 億 2 千万円企業会計で負担することになります。

水道料金の減免 県内 54 市町村のうち 33 市町村 6割に！

*名古屋・豊田・豊橋・岡崎・春日井・岩倉・江南・稲沢・弥富・愛西・小牧・清須・大府・半田・知多・西尾・安城・蒲郡・東海・知立・刈谷・碧南・尾張旭・高浜・みよし・あま 26市

*大口・扶桑・蟹江・阿久井・大治・南知多町、飛島村 7町村



* 県営水道の料金引き下げを 日本共産党は県に申し入れ

愛知県が各市町村から徴収している県営水道（県水）料金の引き下げを求めました。一宮市からも県に意見を出すように求めました。

* 国「地方創生臨時交付金」増額に！ 水道料金の基本料の減免に活用を

第 1 次補正で臨時交付金は 1 兆円でした。野党や全国知事会が増額を求めていたものです。政府が閣議決定した第 2 次補正予算 2 兆円が、各自治体に割り振られます。



(2) 第 2 波に備え、感染症拡大予防のため PCR 検査を

愛知県での PCR 検査の流れ

感染が疑われる人は、帰国者・接触者相談センター（県保健所内に設置）に相談し、受診が必要と判断されれば帰国者・接触者外来を案内され、ここで医師が必要と判断すれば PCR 検査が行われます。県保健所には検査機器がないので、検体を県衛生研究所まで搬送して検査が行われます。



愛知県が公表した新型コロナウイルス感染拡大予防対策指針（5/26）

「検査体制の強化」 ①検査処理件数を増やすため、県衛生研究所を始め保健所設置市、民間検査機関、医療機関における検査能力の拡充を図ること、②ドライブスルー方式等で検体を採取する検査所を設置することです。

【質問】 検査処理件数を増やす方策について分かっていることは？

【答弁】 県の指針によりますと、5月22日現在、県全体での1日当たりの検査可能件数は783件で、これを秋までに1,325件に増やすとしています。

新型コロナウイルス感染症の発生初期は、県と名古屋市での検査でしたが、県からの要請を受け、4月9日からは県内3中核市でも検査を開始しています。

【質問】 一宮市は来年4月に保健所を開設しますが、ほかの県内中核市と同様にPCR検査を実施していくのか？

【答弁】 中核市移行後、当分の間は県一宮保健所を借用して業務を行っていきますが、当保健所の設備については、PCR検査を安全に実施できるレベルにないと聞いています。また、検査担当職員の習熟度も求められますが、現在の一宮保健所ではPCR機器が設置されておらず、中核市移行後に導入しても、使いこなせるまでは時間が必要になってまいります。PCR検査を実施できる機器を購入しても、直ちに検査を始めることはできません。



【質問】 市民病院では、現在、PCR検査を実施しているのか？

実施していないとしたら、今後実施していく予定はあるのか？

【答弁】 現在、市民病院で検体の採取は行っておりますが、採取された検体の検査自体は県の衛生研究所で実施しております。



しかし、県内の検査数が今後再び増加しても速やかに結果がわかるよう、市民病院独自でPCR検査ができるような体制を秋までに整えることを予定しております。

<裏面に続きます>

【質問】 県の対策指針でドライブスルー方式等での検査所の設置については？

【答弁】 県では県内 47 か所の帰国者・接触者外来において検体採取を行っています。

5 月 15 日から瀬戸保健所 豊明保健分室駐車場にて、ドライブスルー方式による検体採取専用の PCR 検査所を開設。5 月 21 日からは、名古屋市と豊橋市においても同じ方式の検査所を設けております。県は今後、県内各地域の状況に応じて増設を検討していくとしています。

ドライブスルー方式の PCR 検査所を設置してほしい！

【質問】 ドライブスルー方式であれば検体を車に乗ったまま採取することができるので、市民にとっては非常に心強く安心できる。一宮市に設置できないのか？

【答弁】 かかりつけ医を受診して検査が必要とされた方が、かかりつけ医の予約により、指定された日時に検査所に出向くというものです。

ドライブスルー方式の検査所を設置するには、広い場所が必要であること、近隣住民の同意を得ること、地区医師会との調整・連携が必要であることなど、課題が想定されます。

中核市移行前の本市においては、検査の実施主体は県となりますが、情報収集に努めながら県からの問い合わせ等には速やかに対応できるよう努めて参ります。



第 2 波に備え、全国で自治体や医師会、医療機関などが協力して PCR 検査センター、またドライブスルー方式を設置する動きが進んでいると報道されています。一宮市でも、市民のいのちと健康を守るため、愛知県、医師会、医療機関との協議を進めてほしいと思います。

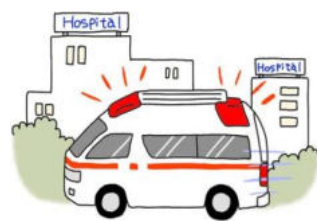


2 子どもたちに安心安全な学校給食を

(1) 共同調理場の熱中症対策について

【質問】 過去 5 年間で南部・北部調理場で調理員が熱中症で救急搬送されたことがあるか？ あればその内容を教えてほしい。

【答弁】 2 つの共同調理場で、熱中症が原因で救急車で搬送されたケースは、平成 30 年度の 7 月に 1 回、北部調理場でありました。



一宮地区には 2 つの共同調理場（各 13,500 食）があり、築 44 年・47 年で老朽化！

学校給食衛生管理基準（平成 21 年制定）

* 「調理場は十分な換気を行い、湿度は 25℃以下、湿度は 80%以下に保つことが望ましい。」と規定。2 つの共同調理場の昨年 7 月の調理中の温度・湿度は？

・南部調理場 平均 26.5℃、69.2%、最高 28℃、80%

・北部調理場 平均 28.3℃、84.1%、最高 30℃、90%

* 「高温多湿の調理場では、細菌が増殖しやすくなるとともに、学校給食従事者の疲労が増大し、注意力が散漫になりやすい。食中毒の発生につながる恐れがある。調理場は空調等を備え十分な換気を行う」と規定。



北部調理場

共同調理場の熱中症対策を緊急に検討してほしい！

【質問】 夏の調理現場は、基準以上の温度湿度のもとでの過酷な労働環境。特に今年は、初めて夏休みも 9 日間給食提供となる。基準で求められる適切な温度湿度となるように、整備するのは市の責任と考える。熱中症予防の対策を緊急に検討してほしいと思うが、いかがか？

市長に答弁を求めましたが、市長の答弁はありませんでした。

【答弁】 調理場の建物の構造自体は変えることができませんので、以前より調理委託業者等と協議し、スポットクーラー等の設置し、設備面で労働環境の改善をはかっています。また、調理委託業者に対して、熱中症対策を講じるよう依頼しております。

* 答弁をするのは担当部長等です。

熱中症について

* 夏季（6～8 月）は気温が高いだけでなく湿度も高く、蒸し暑いのが特徴です。

熱中症は、気温だけでなく湿度も大きく影響するといわれ、この時期は熱中症患者の急激な増加が大きな問題となっています。

* 症状は 3 段階あり、死に至る可能性があります。適切な予防法を知っていれば防ぐことができます。



<お詫びと訂正>

シャトル NO,732 「一般質問者通告一覧」の会派名

・訂正前 いちのみを良くする会

・訂正後 いちのみやを良くする会

